

ロシア非難 143カ国賛成

国連総会決議「4州併合無効」

193カ国で構成する国連総会は12日、ロシアによるウクライナ東部・南部4州の一方的な併合宣言を「違法で無効」と非難する決議を143カ国の賛成で採択した。反対はロシアなど1カ国だけで、中国やインドなど35カ国が棄権し、10カ国は投票しなかった。

▼国際面=練られた決議

オピニオン面=社説

決議に法的拘束力はないが、ウクライナからの即時撤退を求めて141カ国の賛成で採択した3月の決議の賛成票を一つ上回った。国際社会でロシアの孤立を際立たせ、一定の圧力をかける効果が見込まれる。

決議では、国際的に認め

られたウクライナの主権や領土保全などを再確認し、親ロシア派勢力が実施したウクライナ4州での「住民投票」について「違法」と非難した。「住民投票」の結果も無効と断じた。

決議の案は欧州連合(EU)が作成に関わり、欧米や日本など76カ国が共同提案国として名を連ねた。9月30日、国連安全保障理事会で提案されたロシアへの非難決議案はロシアの拒否権で廃案になつたが、この決議案を土台に、多くの国が賛同できるよう文言を調整した。この結果、3月の決議の際は無投票だった半

島も、今回の決議については賛成に回った。

米国のトマスマスグリーンフィールド国連大使は今回の決議の意義を評価し、こう強調した。「国が大きくても小さくとも、豊かでも貧乏によつて保護されないとしても関係ない。国連加盟国であれば、国境は国際法によつて保護される。国連のすべての国に当たってはまる」「反対した国がベラルーシ、北朝鮮、ニカラグア、シリアの4カ国にとどまりたことも重視した。国連総会は2014年に決議案を土台に、多くの国が賛同できるよう文言を調整した。この結果、3月の決議の際は無投票だった半島も、ロシアのクリミア併合を無効とする決議を100カ国が賛成で採択してい

(ヨーローク=遠田真生)